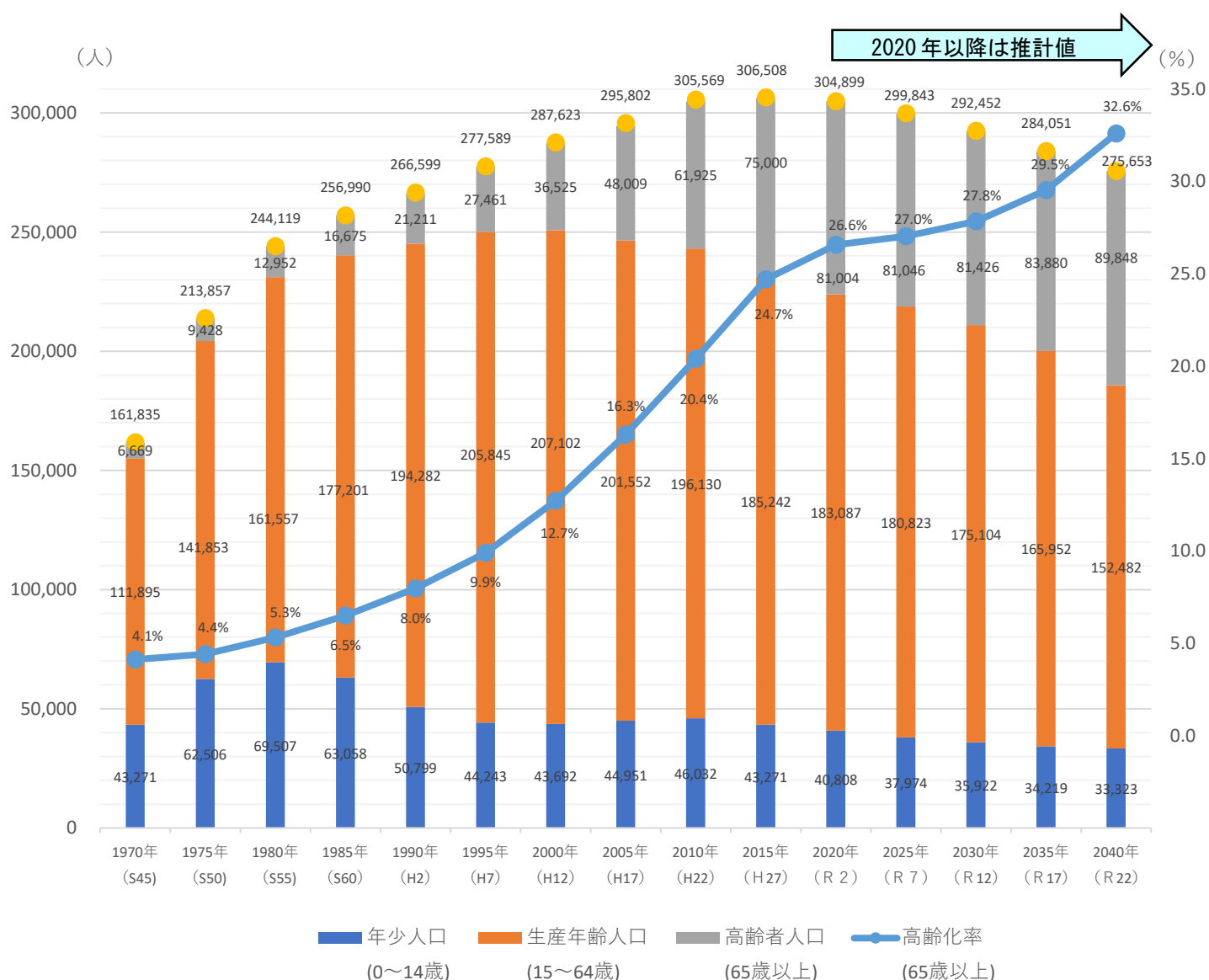


春日井市の現状について

1 人口特性

(1) 人口と高齢化率の推移

・2015 年以降、人口減少に転じ、高齢化が進行している。

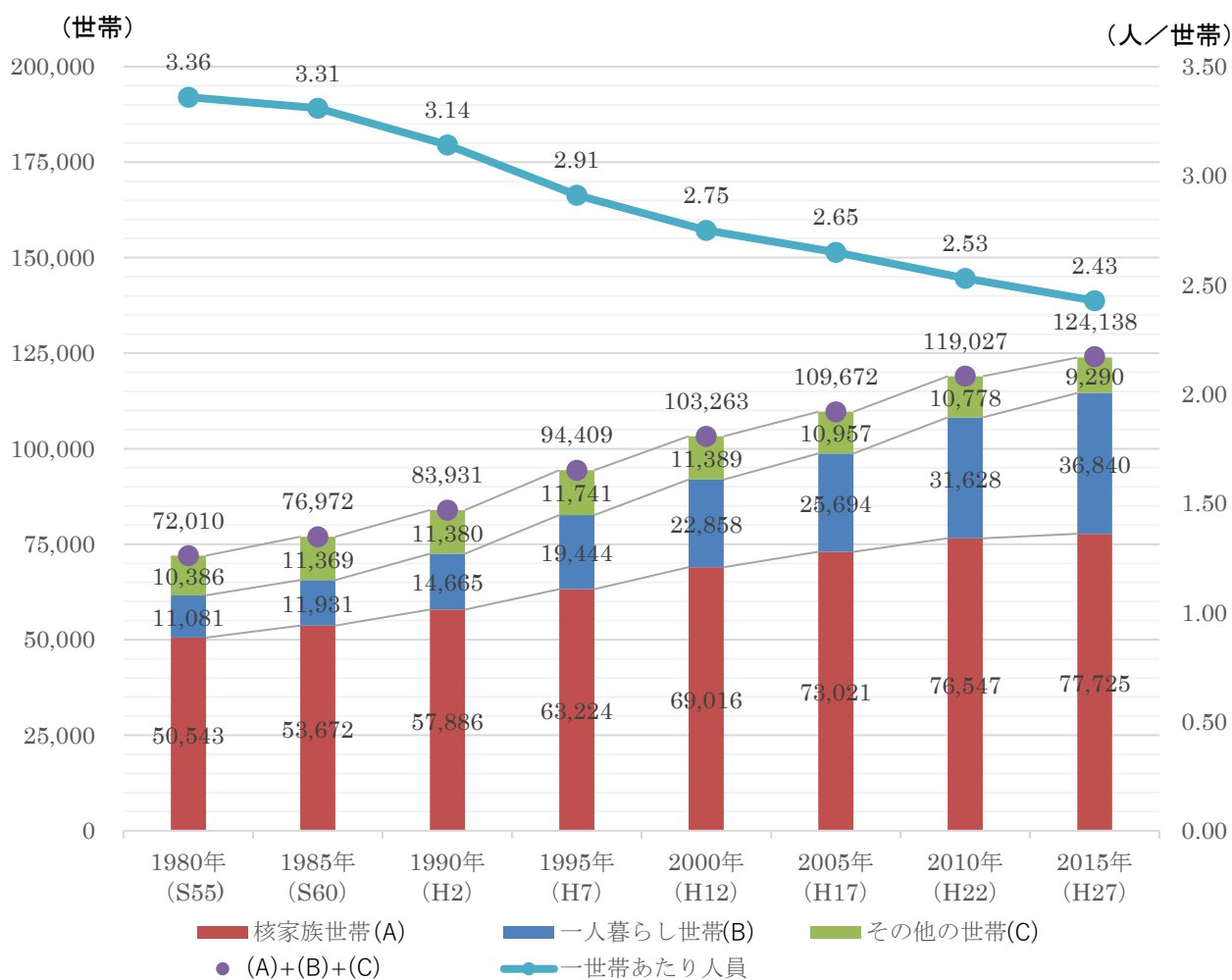


参考：2015 年までは総務省「国勢調査」 2020 年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計値（平成 30 年 3 月推計）

※ 総数には年齢不詳を含む。高齢化率は、年齢不詳を除く合計値に対する割合。

(2) 世帯の家族類型別と一世帯あたりの人員の推移

・一世帯あたり人員は年々減少し、35年間で約1人減少している。

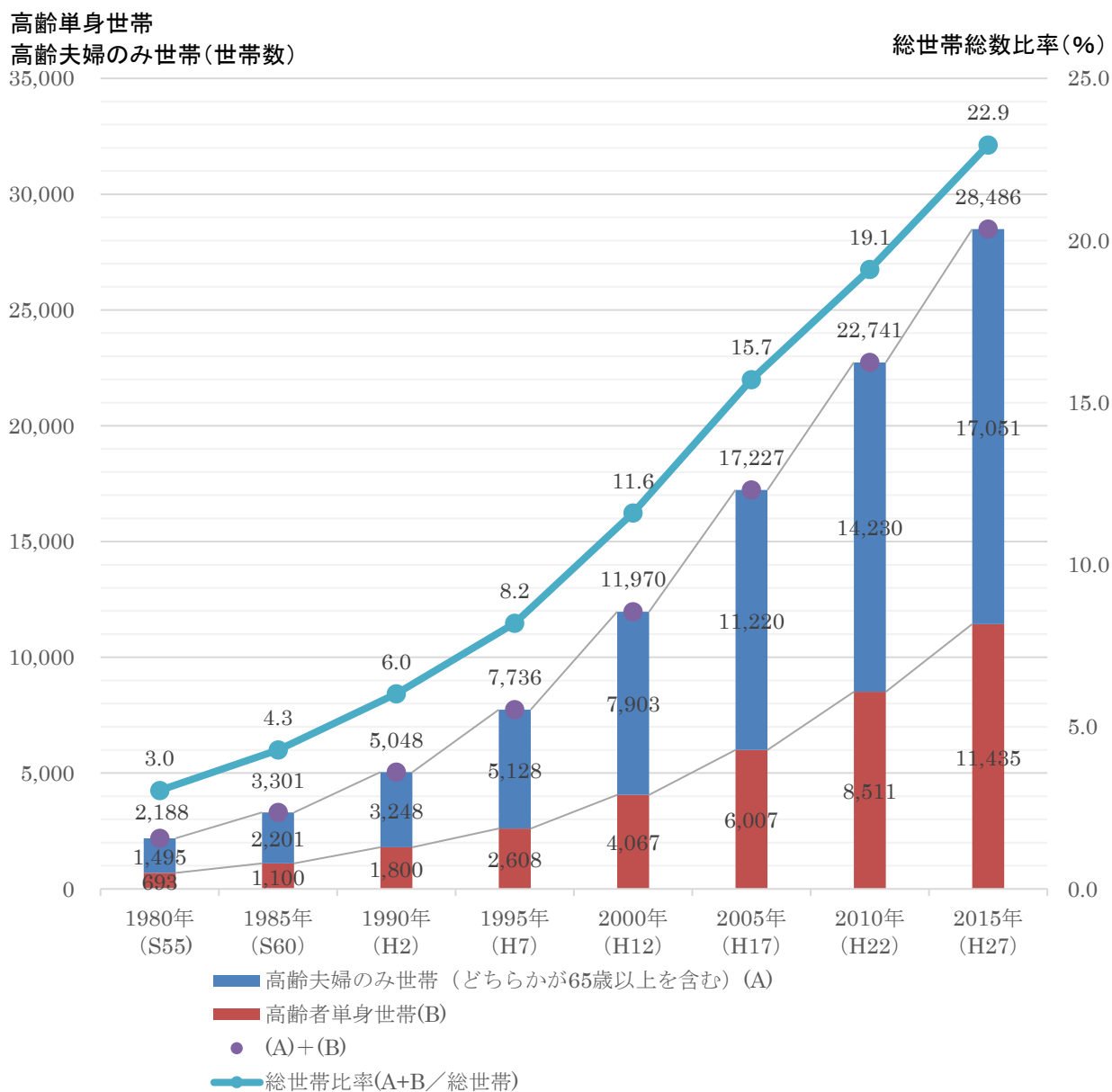


参考：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

※ 総数には家族類型「不詳」を含む。

(3) 高齢者のいる世帯数の推移

- ・ 高齢者世帯が増加し、特に、高齢者単身世帯が10年間で2倍となっている。
- ・ 高齢者世帯の総世帯に占める割合も増加している。



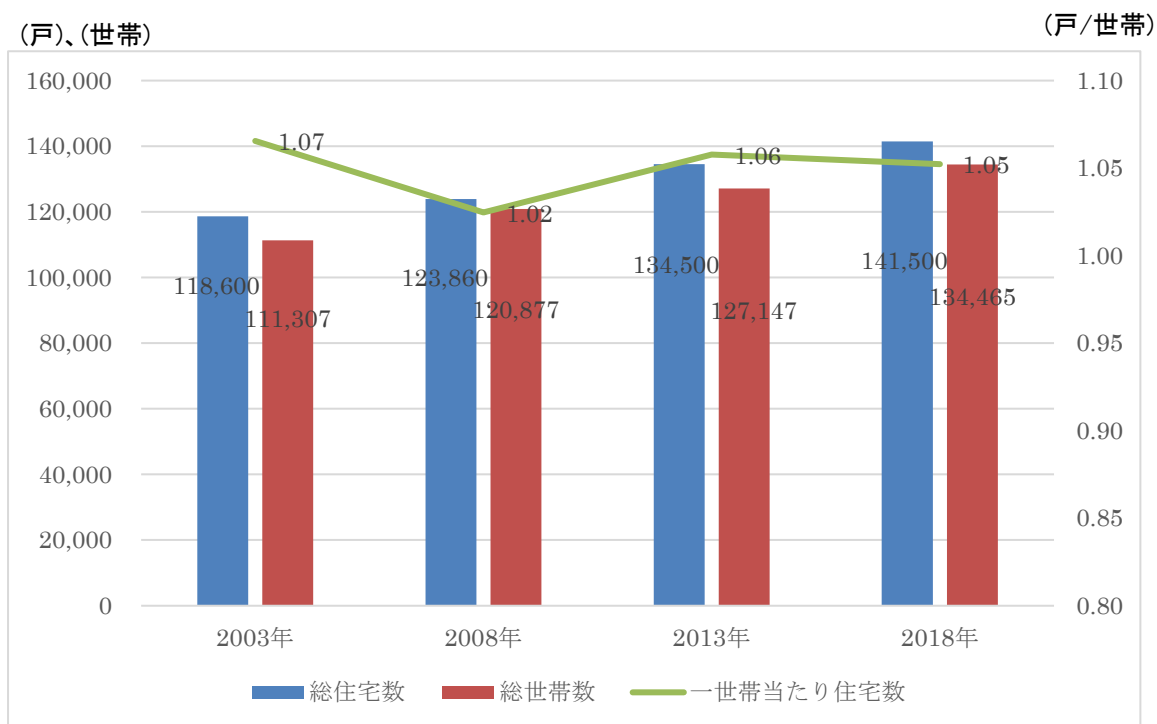
参考：総務省「国勢調査」

2 住宅特性

(1) 総住宅数、総世帯数及び一世帯あたり住宅数の推移

- ・ 総住宅数、総世帯数ともに増加している。
- ・ 一世帯あたりの住宅数は、同程度で推移している。

	2003 年	2008 年	2013 年	2018 年
総住宅数（戸）	118,600	123,860	134,500	141,500
総世帯数（世帯）	111,307	120,877	127,147	134,465
一世帯当たり住宅数 （戸／世帯）	1.07	1.02	1.06	1.05



参考：（住宅数）総務省「住宅・土地統計調査」、（世帯数）市民課「春日井市統計書」

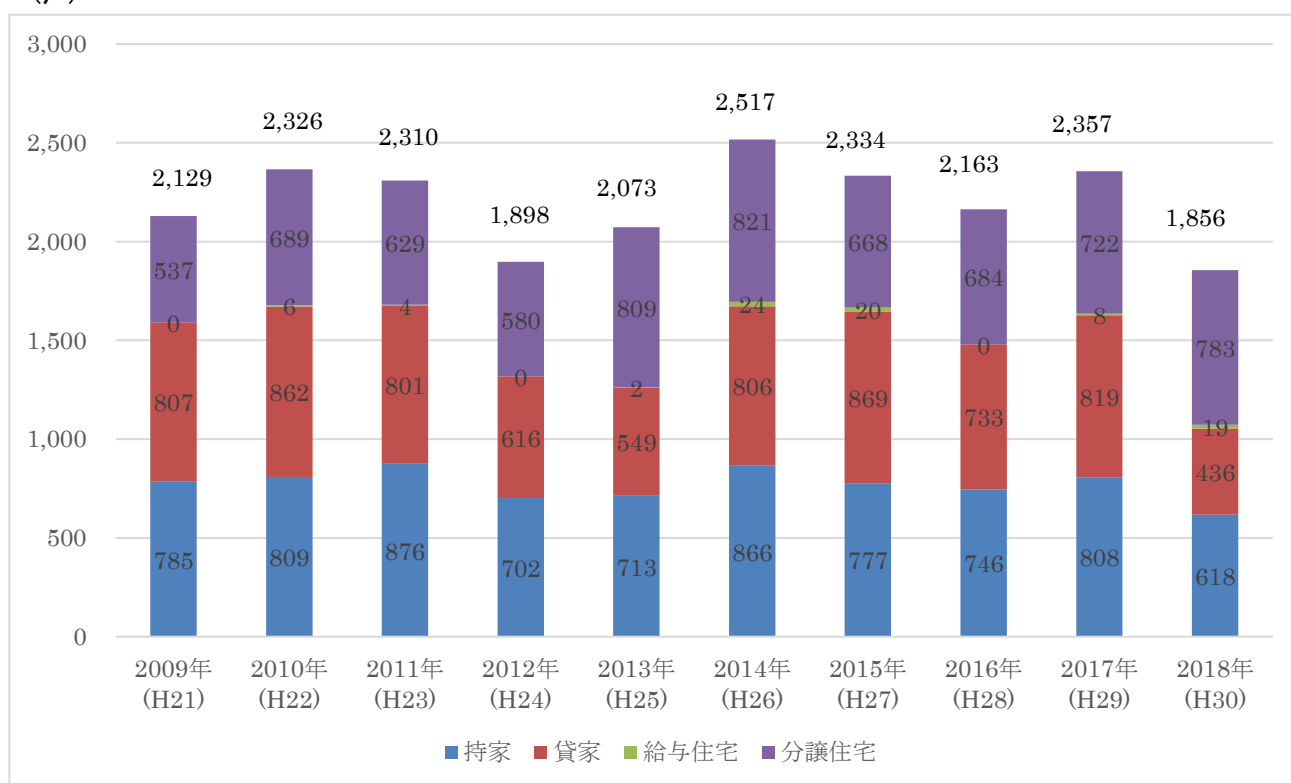
(2) 着工新築住宅数の推移

・毎年、約 2,000 戸の住宅が新築されている。

単位：戸

	2009 年 (H21)	2010 年 (H22)	2011 年 (H23)	2012 年 (H24)	2013 年 (H25)	2014 年 (H26)	2015 年 (H27)	2016 年 (H28)	2017 年 (H29)	2018 年 (H30)
総 数	2,129	2,366	2,310	1,898	2,073	2,517	2,334	2,163	2,357	1,856
持 家	785	809	876	702	713	866	777	746	808	618
借 家	807	862	801	616	549	806	869	733	819	436
給与住宅	0	6	4	0	2	24	20	0	8	19
分譲住宅	537	689	629	580	809	821	668	684	722	783

(戸)



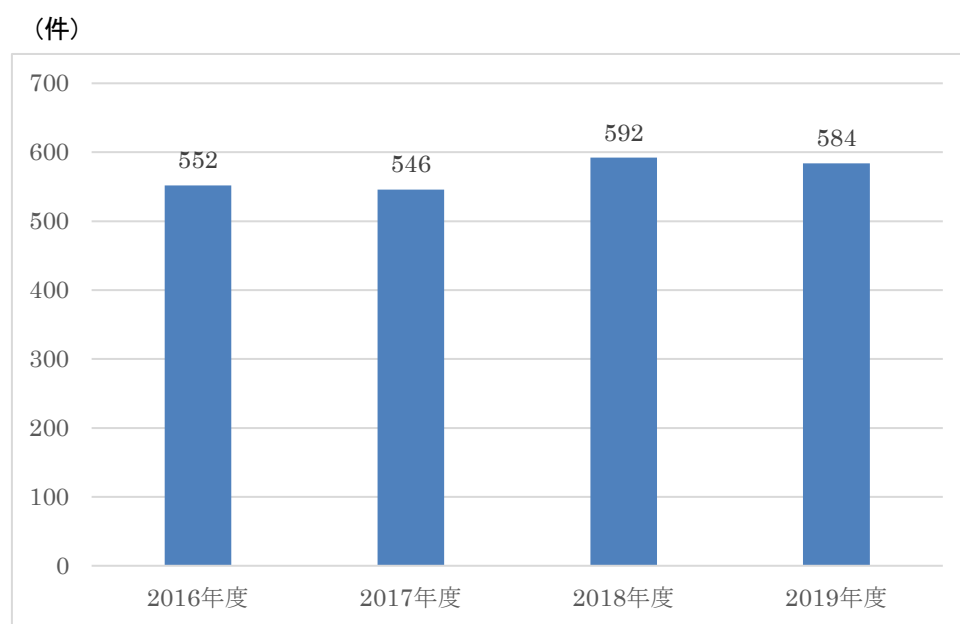
参考：国土交通省「建築着工統計調査」

(3) 建物の解体数の推移

- ・ 解体件数は、同程度で推移している。

単位：件

年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
解体に係る届出件数	552	546	592	584



参考：建築指導課「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律に係る届出件数」

(4) 住宅の建築時期と腐朽・破損の状況

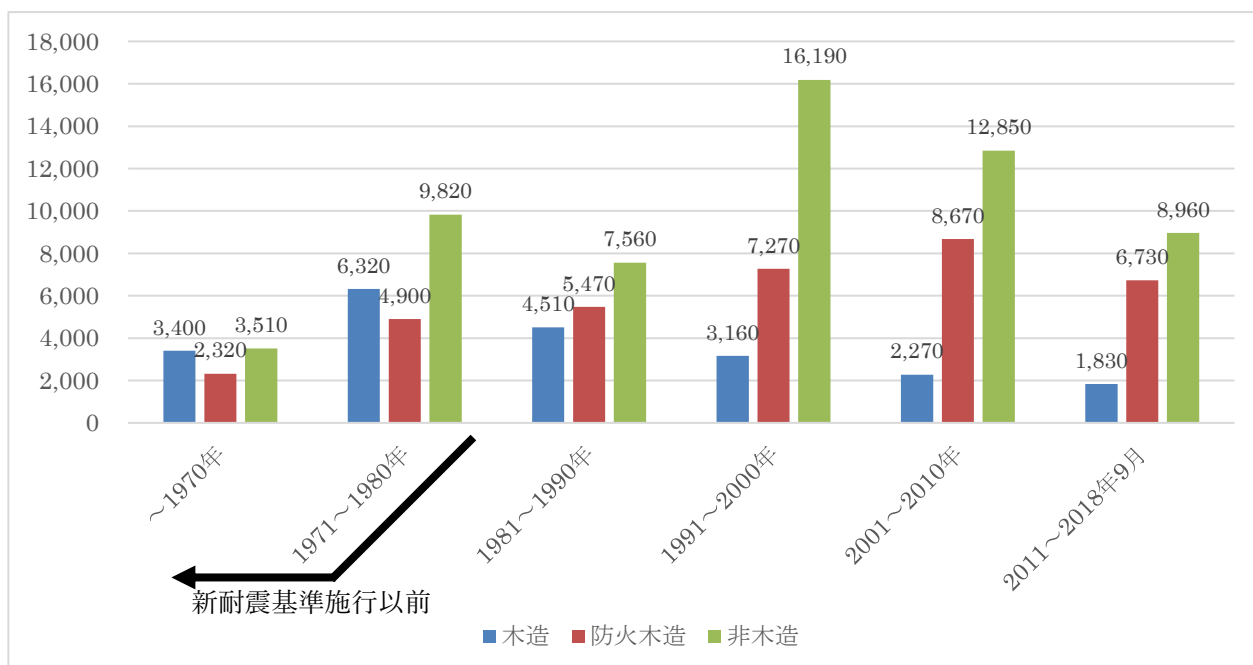
- ・昭和 56 年の新耐震基準施行以前に建設された住宅の占める割合は、全体の約 2 割を占めている。

単位：戸

	木造	防火木造	非木造	合 計
総 数	23,790	38,310	62,360	124,460
～ 1 9 7 0 年	3,400	2,320	3,510	9,230
1 9 7 1 ～ 1 9 8 0 年	6,320	4,900	9,820	21,040
1 9 8 1 ～ 1 9 9 0 年	4,510	5,470	7,560	17,540
1 9 9 1 ～ 2 0 0 0 年	3,160	7,270	16,190	26,620
2 0 0 1 ～ 2 0 1 0 年	2,270	8,670	12,850	23,790
2011～2018 年 9 月	1,830	6,730	8,960	17,520

※建築年が不明なものを除く

(戸)

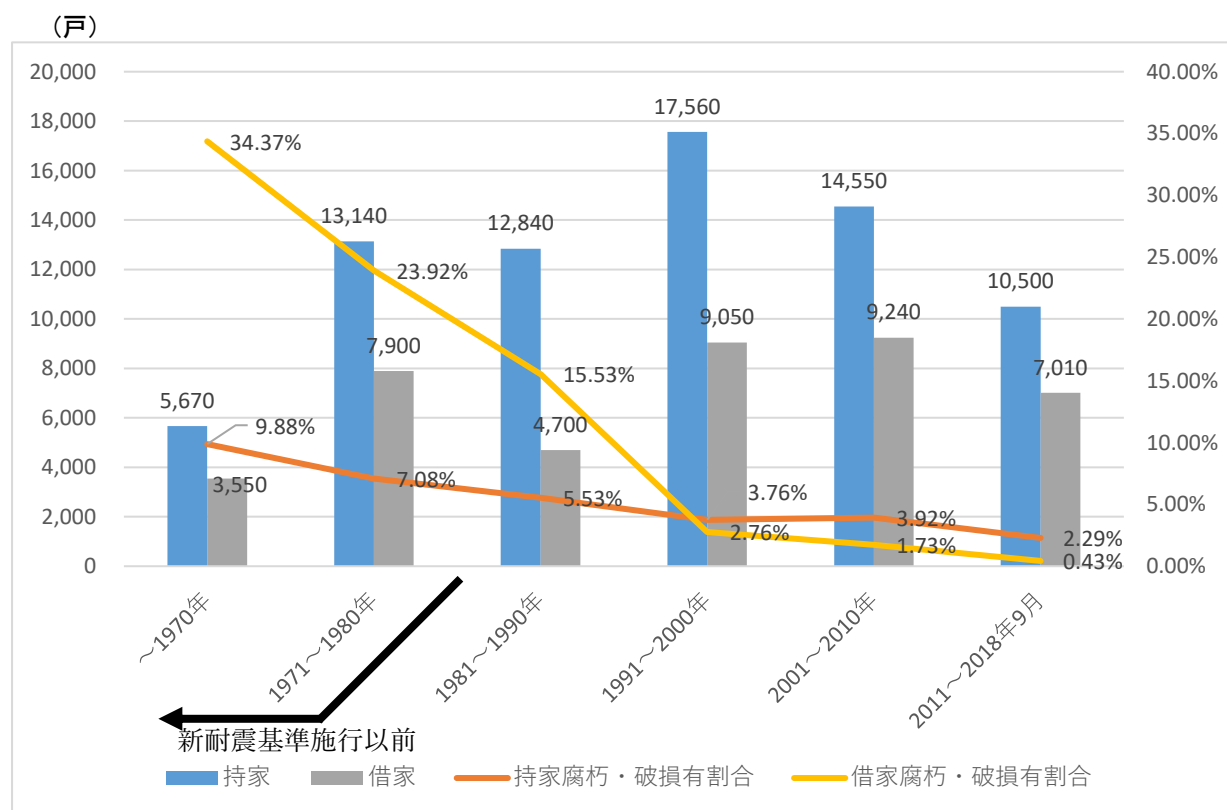


参考：総務省「住宅・土地統計調査」（2018 年）

- ・ 建築年数が経過している住宅の方が「腐朽・破損」している割合が高い。
- ・ 持家と借家を比較すると、借家の方が「腐朽・破損」している割合が高い傾向にある。

単位：戸

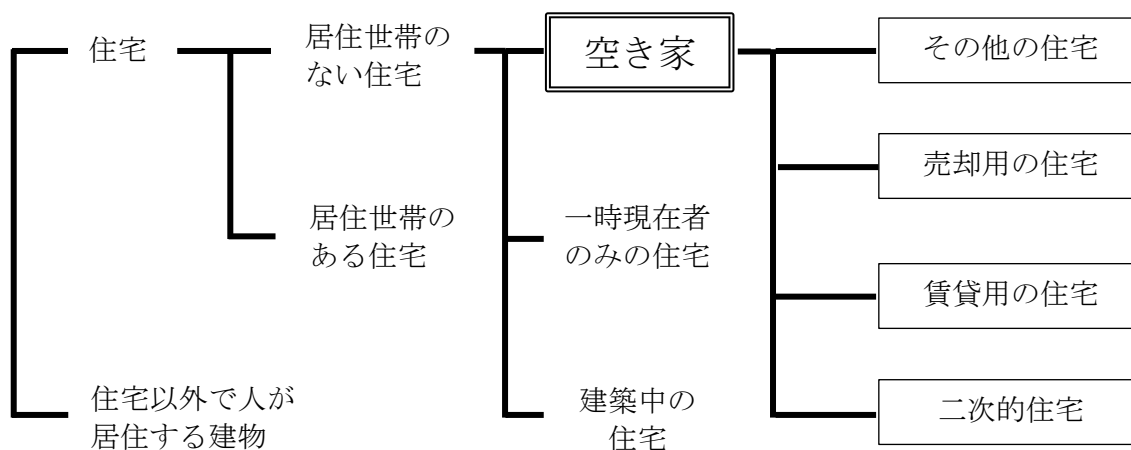
	総 数			持 家			借 家		
	総数	腐朽・破損		総数	腐朽・破損		総数	腐朽・破損	
		有	無		有	無		有	無
総 数	124,470	9,160	115,310	77,620	3,900 (5.02%)	73,720	44,580	4,870 (10.92%)	39,710
～1970 年	9,230	1,780	7,450	5,670	560 (9.88%)	5,110	3,550	1,220 (34.37%)	2,340
1971～ 1980 年	21,050	2,820	18,220	13,140	930 (7.08%)	12,210	7,900	1,890 (23.92%)	6,010
1981～ 1990 年	17,540	1,440	16,090	12,840	710 (5.53%)	12,130	4,700	730 (15.53%)	3,960
1991～ 2000 年	26,620	910	25,700	17,560	660 (3.76%)	16,910	9,050	250 (2.76%)	8,800
2001～ 2010 年	23,790	740	23,060	14,550	570 (3.92%)	13,970	9,240	160 (1.73%)	9,080
2011～ 2018 年 9 月	17,510	260	17,250	10,500	240 (2.29%)	10,270	7,010	30 (0.43%)	6,990



参考：総務省「住宅・土地統計調査」（2018 年）

3 空き家の状況

(1) 空き家総数及びその他の住宅総数



- ・「その他の住宅」……人が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など（注：空き家の区分の判断が困難な住宅を含む）
- ・「売却用の住宅」……新築・中古を問わず、売却のために空き家になっている住宅
- ・「賃貸用の住宅」……新築・中古を問わず、賃貸のために空き家になっている住宅
- ・「二次的住宅」……別荘など、週末や休暇時に避暑・保養などの目的で使用される住宅や、普段住んでいる住宅とは別に、たまに寝泊まりする人がいる住宅

※ 単位は「戸」で、長屋や共同住宅の空き室を含む。

- ・空き家総数は、増加している。
- ・住宅総数に占める空き家総数の割合、その他住宅数の割合とも、全国より下回っているものの、愛知県よりは高くなっている。

住宅総数

単位：戸

	1998 年	2003 年	2008 年	2013 年	2018 年
全国	50,246,000	53,890,900	57,586,000	60,628,000	62,407,400
愛知県	2,681,000	2,898,800	3,132,900	3,439,000	3,481,800
春日井市	109,330	118,600	123,860	134,350	141,500

空き家総数

単位：戸

	1998 年	2003 年	2008 年	2013 年	2018 年
全国	5,764,100 (11.47%)	6,593,300 (12.23%)	7,567,900 (13.14%)	8,195,600 (13.52%)	8,488,600 (13.60%)
愛知県	298,900 (11.15%)	333,400 (11.50%)	343,600 (10.97%)	422,000 (12.27%)	393,800 (11.31%)
春日井市	－ －	12,060 (10.17%)	11,570 (9.34%)	15,210 (11.32%)	16,450 (11.63%)

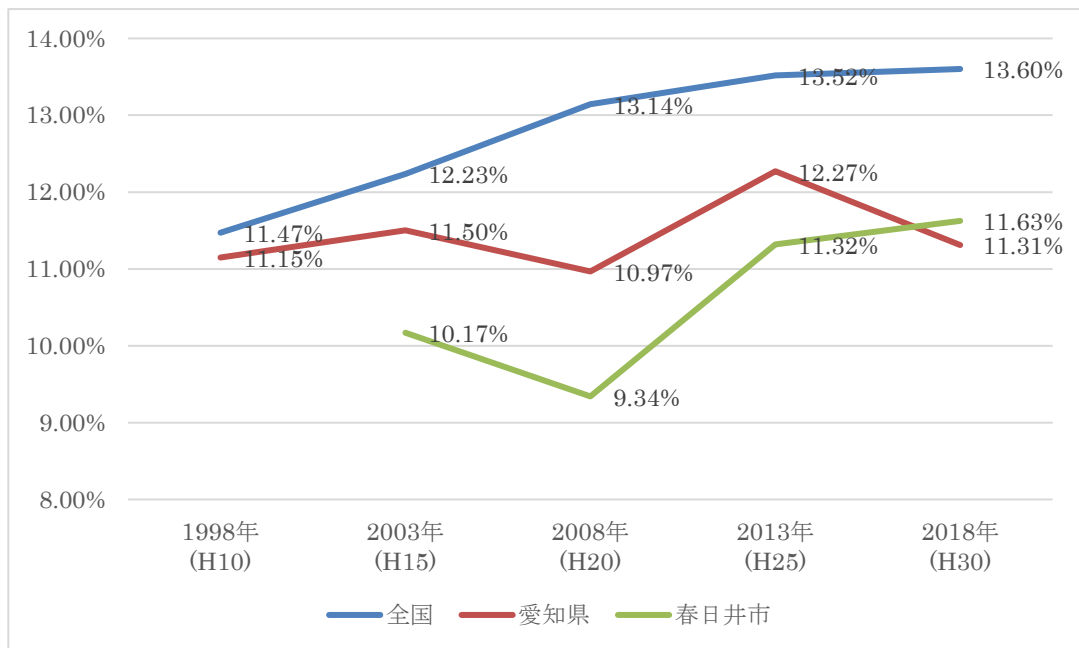
その他の住宅数

単位：戸

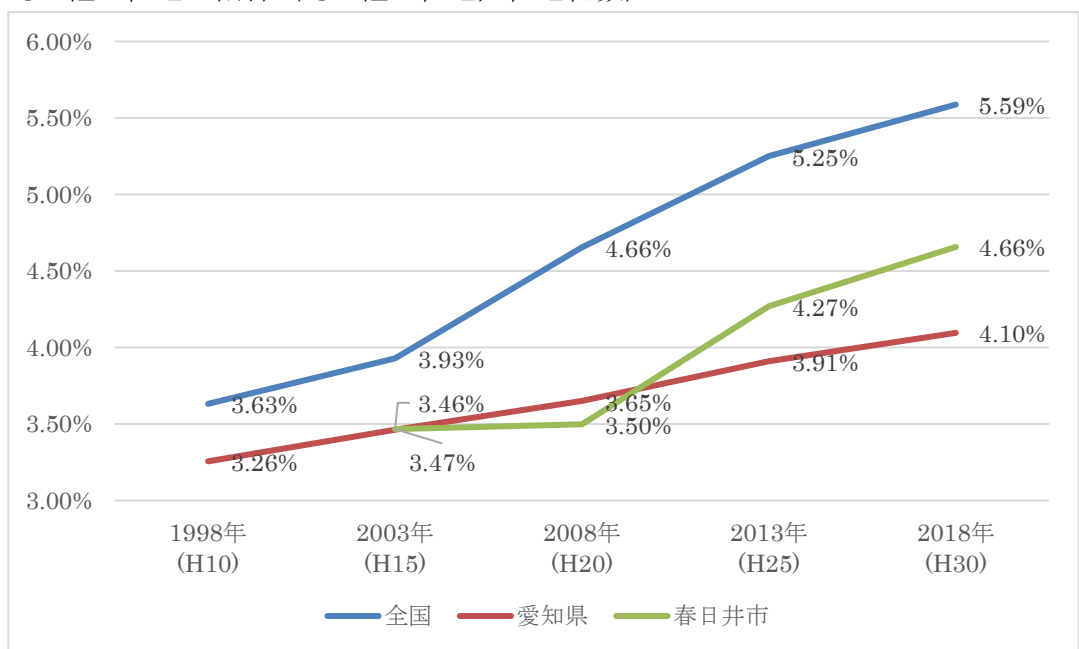
	1998 年	2003 年	2008 年	2013 年	2018 年
全国	1,824,900 (3.63%)	2,117,600 (3.93%)	2,681,100 (4.66%)	3,183,600 (5.25%)	3,487,200 (5.59%)
愛知県	87,300 (3.26%)	100,400 (3.46%)	114,360 (3.65%)	134,500 (3.91%)	142,600 (4.10%)
春日井市	－ －	3,790 (3.47%)	4,150 (3.50%)	5,290 (4.27%)	6,590 (4.66%)

参考：総務省「住宅・土地統計調査」

空き家総数の割合（空き家総数／住宅総数）



その他の住宅の割合（その他の住宅／住宅総数）



(2) 空き家の種類別割合

・賃貸用の住宅の割合が最も高く、次にその他の住宅が高くなっている。

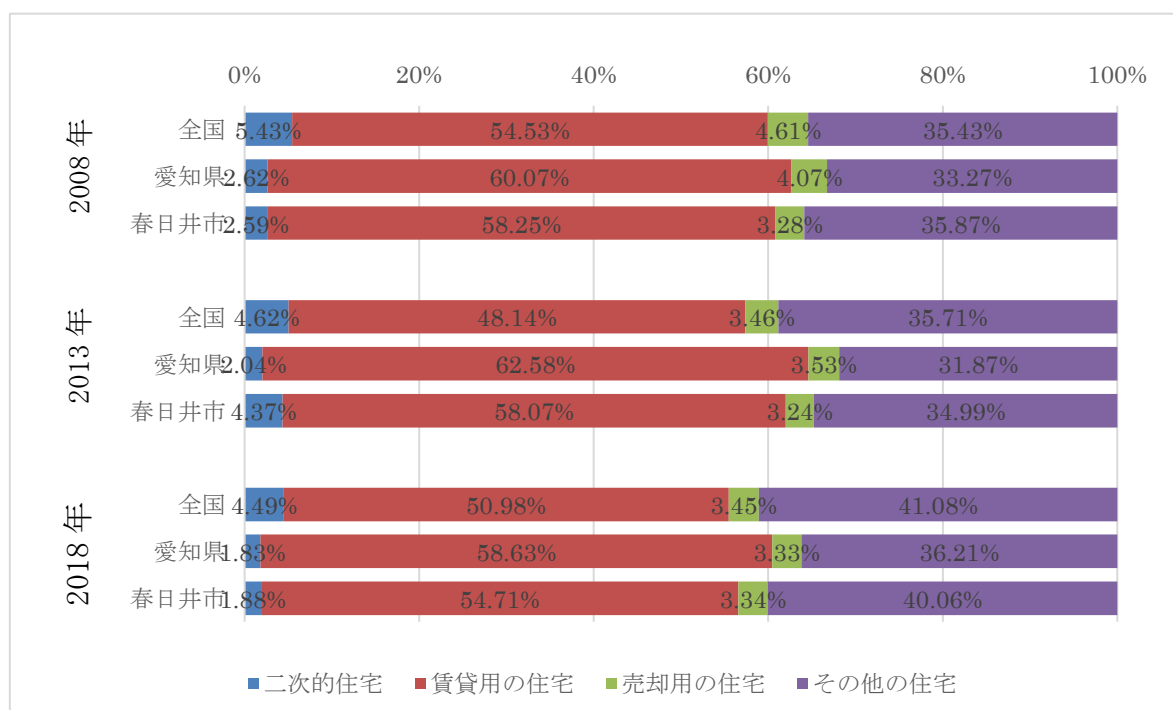
空き家の種類別戸数

単位：戸

		2008 年		2013 年		2018 年	
全国	空き家総数	7,567,900	—	8,915,600	—	8,488,600	—
	二次的住宅	411,200	(5.43%)	412,000	(4.62%)	381,000	(4.49%)
	賃貸用の住宅	4,126,800	(54.53%)	4,291,800	(48.14%)	4,327,200	(50.98%)
	売却用住宅	348,800	(4.61%)	308,200	(3.46%)	293,200	(3.45%)
	その他の住宅	2,681,100	(35.43%)	3,183,600	(35.71%)	3,487,200	(41.08%)
愛知県	空き家総数	343,600	—	422,000	—	393,800	—
	二次的住宅	9,000	(2.62%)	8,600	(2.04%)	7,200	(1.83%)
	賃貸用の住宅	206,400	(60.07%)	264,100	(62.58%)	230,900	(58.63%)
	売却用住宅	14,000	(4.07%)	14,900	(3.53%)	13,100	(3.33%)
	その他の住宅	114,300	(33.27%)	134,500	(31.87%)	142,600	(36.21%)
春日井市	空き家総数	11,570	—	15,120	—	16,450	—
	二次的住宅	300	(2.59%)	660	(4.37%)	310	(1.88%)
	賃貸用の住宅	6,740	(58.25%)	8,780	(58.07%)	9,000	(54.71%)
	売却用住宅	380	(3.28%)	490	(3.24%)	550	(3.34%)
	その他の住宅	4,150	(35.87%)	5,290	(34.99%)	6,590	(40.06%)

参考：総務省「住宅・土地統計調査」

空き家の種類別割合（空き家の各種別／空き家の総数）



(3) 空き家の建て方別割合

・市の空き家の数は、戸建ては減少しているが、長屋・共同住宅が増加している。

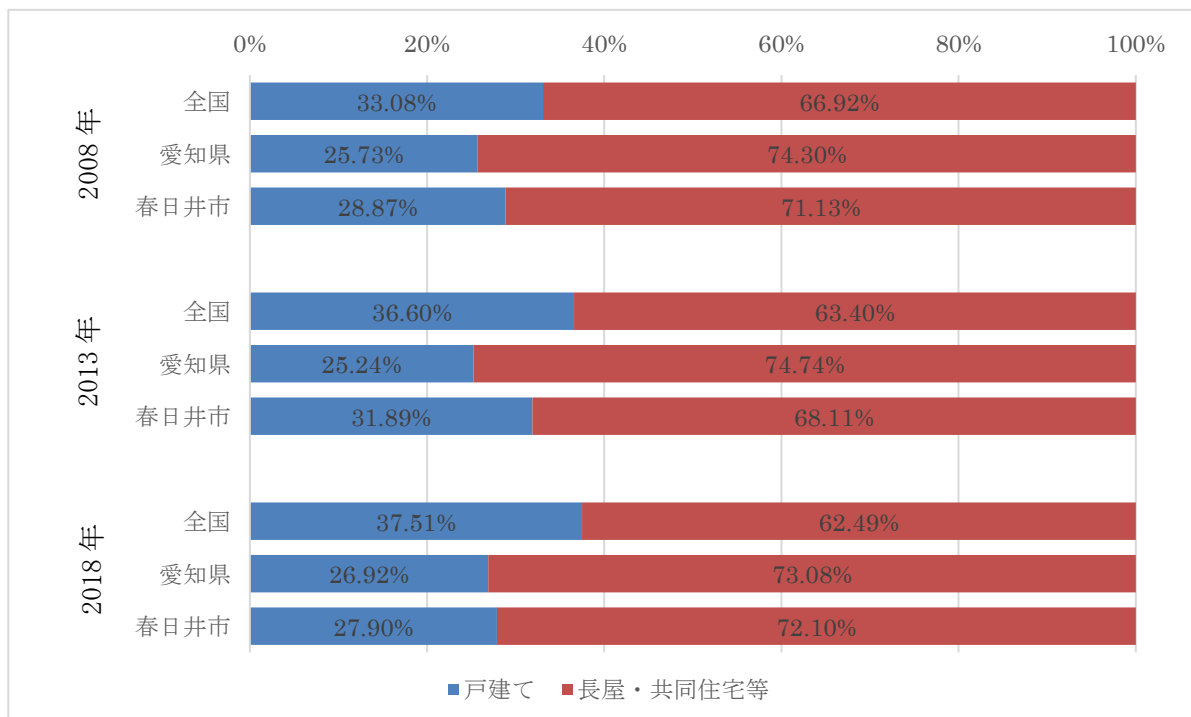
空き家の建て方別戸数

単位：戸

		2008 年	2013 年	2018 年
全国	空き家総数	7,567,900 —	8,195,600 —	8,488,600 —
	戸建て	2,503,500 (33.08%)	2,999,200 (36.60%)	3,183,800 (37.51%)
	長屋・共同住宅等	5,064,400 (66.92%)	5,196,300 (63.40%)	5,304,800 (62.49%)
愛知県	空き家総数	343,600 —	422,000 —	393,800 —
	戸建て	88,400 (25.73%)	106,500 (25.24%)	106,000 (26.92%)
	長屋・共同住宅等	255,300 (74.30%)	315,400 (74.74%)	287,800 (73.08%)
春日井市	空き家総数	11,570 —	15,210 —	16,450 —
	戸建て	3,340 (28.87%)	4,850 (31.89%)	4,590 (27.90%)
	長屋・共同住宅等	8,230 (71.13%)	10,360 (68.11%)	11,860 (72.10%)

参考：総務省「住宅・土地統計調査」

空き家の建て方別割合（戸建て又は長屋・共同住宅等／空き家総数）



(4) 空き家の腐朽・破損の有無

- ・その他の住宅の「腐朽・破損」がある割合が高くなっている。
- ・木造住宅の方が「腐朽・破損」ある割合が高くなっている。

空き家の種類別構造別戸数

単位：戸

一戸建	木造			非木造		
	総数	腐朽・破損		総数	腐朽・破損	
		有	無		有	無
二次的住宅	110	0 (0%)	110 (100%)	50	0 (0%)	50 (100%)
賃貸用の住宅	300	130 (43.33%)	170 (56.67%)	0	0 (0%)	0 (0%)
売却用の住宅	240	30 (12.5%)	210 (87.5%)	100	0 (0%)	100 (100%)
その他の住宅	3,540	1,120 (31.64%)	2,490 (68.36%)	260	70 (26.92%)	200 (73.08%)
合 計	4,190	1,280	2,980	410	70	350

長屋建・共同 住宅・その他	木造			非木造		
	総数	腐朽・破損		総数	腐朽・破損	
		有	無		有	無
二次的住宅	50	0 (0%)	50 (100%)	100	50 (50%)	50 (50%)
賃貸用の住宅	1,200	250 (20.83%)	940 (79.17%)	7,510	1,320 (17.58%)	6,190 (82.42%)
売却用の住宅	0	0 (0%)	0 (0%)	210	0 (0%)	210 (100%)
その他の住宅	340	220 (64.71%)	120 (35.29%)	2,450	160 (6.53%)	2,280 (93.47%)
合 計	1,590	470	1,110	10,270	1,530	8,730

参考：総務省「住宅・土地統計調査」（2018年）

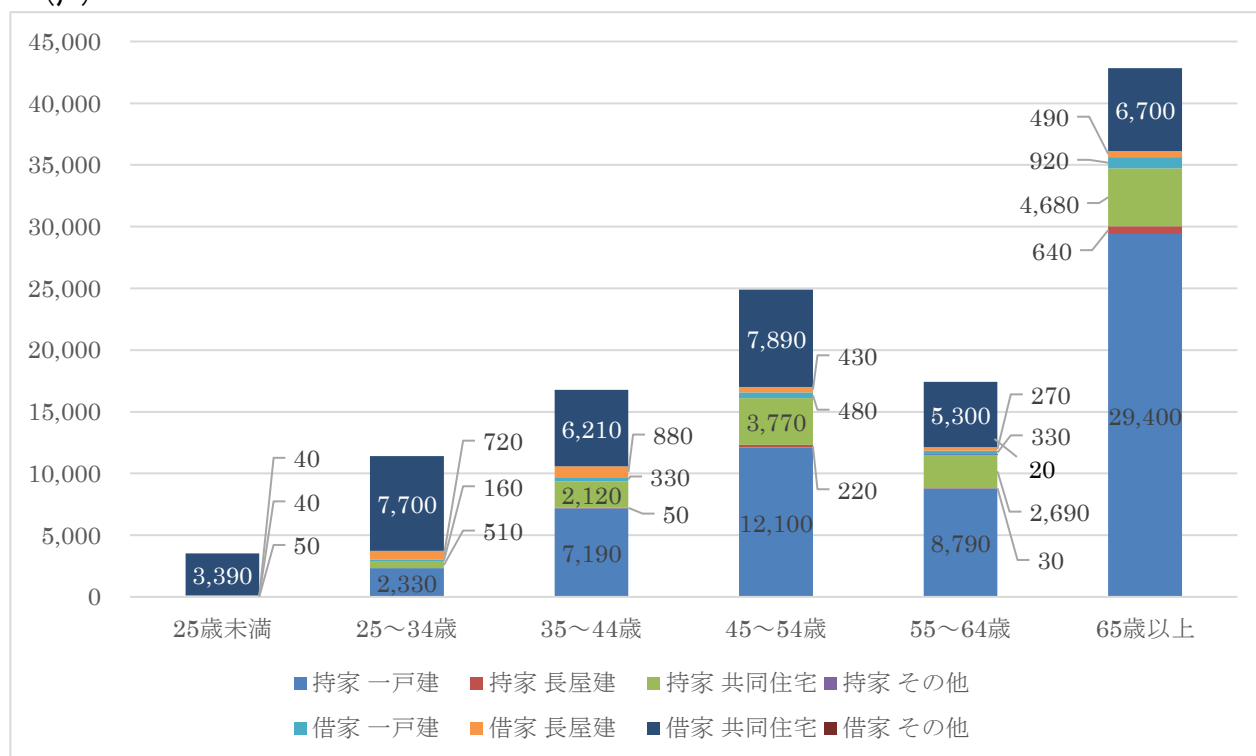
(5) 世帯主の年齢別の住宅の種類

・世帯主が65歳以上は「持ち家」が多く、特に「一戸建ての持ち家」が多くなっている。

単位：戸

		25歳未満	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	合計
持家	一戸建	0	2,330	7,190	12,100	8,790	29,400	59,810
	長屋建	0	0	50	220	30	640	940
	共同住宅	50	510	2,120	3,770	2,690	4,680	13,820
	その他	0	0	0	0	20	0	20
借家	一戸建	40	160	330	480	330	920	2,260
	長屋建	40	720	880	430	270	490	2,830
	共同住宅	3,390	7,700	6,210	7,890	5,300	6,700	37,190
	その他	0	0	0	0	0	0	0
合 計		3,520	11,420	16,780	24,890	17,430	42,830	116,870

(戸)



参考：総務省「住宅・土地統計調査」（2018年）

(6) 空き家の相談・苦情件数

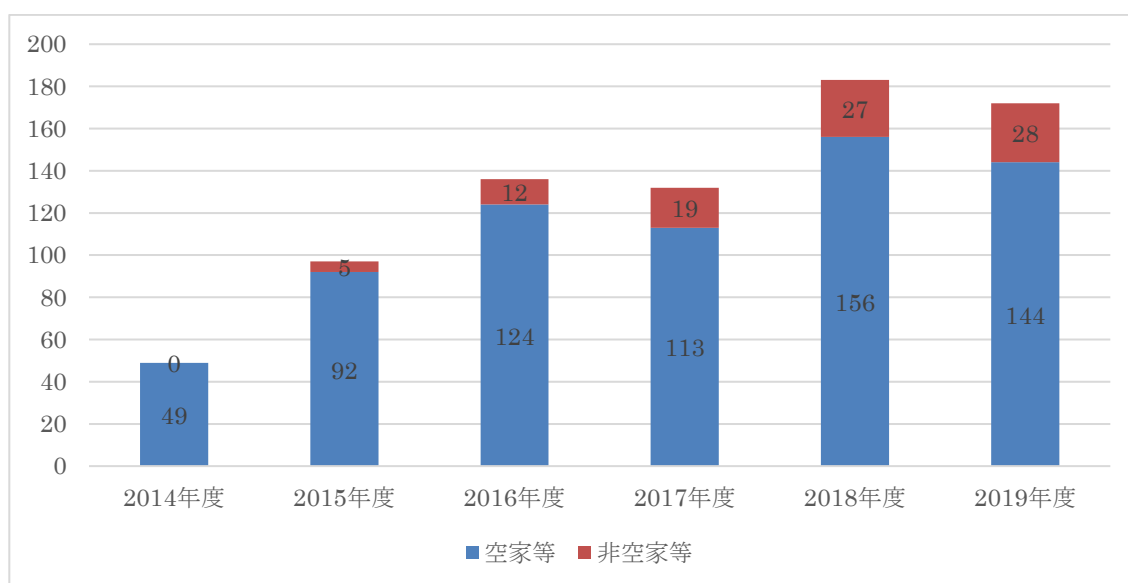
・2016年度以降、毎年150件程度の空き家相談が寄せられている。

空き家相談件数（各年度3月31日現在）

単位：件

	空家等	非空家等	合計
2014年度	49	0	49
2015年度	92	5	97
2016年度	124	12	136
2017年度	113	19	132
2018年度	156	27	183
2019年度	144	28	172
合計	678	91	769

(件)

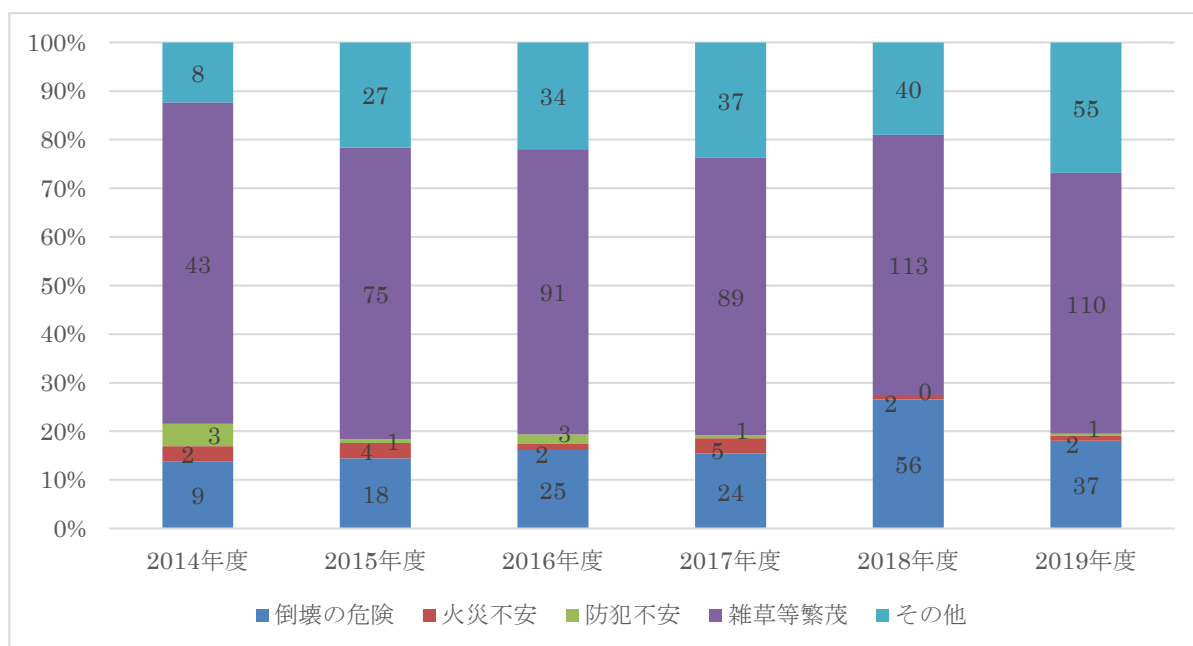


・相談内容は、「雑草等繁茂」で半数以上を占めている。

空き家相談内容（各年度3月31日現在）

単位：件

	倒壊の危険	火災不安	防犯不安	雑草等繁茂	その他	合計
2014年度	9	2	3	43	8	65
2015年度	18	4	1	75	27	125
2016年度	25	2	3	91	34	155
2017年度	24	5	1	89	37	156
2018年度	56	2	0	113	40	211
2019年度	37	2	1	110	55	205
合計	169	17	9	521	201	917



参考：住宅政策課「相談・苦情件数」

（※ 相談内容は延べ件数であるため、空き家相談件数と相談内容件数は一致しない。）